

STC-MA7

ユーザーズマニュアル

Ver.3.1.0

2006/04/07

ヤマハ株式会社

本書の著作権は、ヤマハ株式会社に属しています。
本書の内容の転載・一部複製には、ヤマハ株式会社の承諾が必要です。
また、本書の内容は予告なく変更される場合があります。



Copyright© 2006 Yamaha Corporation

All rights reserved

<更新履歴>

Ver.	Date	内容
3.1.0	2006/04/07	・ 新規作成

<目次>

1	概要	5
1.1	STC-MA7 の機能	5
1.2	推奨動作環境	5
1.2.1	CPU / クロック	5
1.2.2	OS	5
1.2.3	ハードディスク空き容量	5
1.2.4	メモリ	5
2	ソフトウェア	6
2.1	ファイル構成	6
2.2	形態	6
3	オプション操作方法	7
3.1	再生時間	7
3.2	追加空白時間	7
3.3	入力 SMAF ファイルパス	7
3.4	出力 SMAF ファイルパス	7
3.5	ログファイル出力パス	7
3.6	表示系チャンクの自動削除	8
3.7	フェードアウト	8
3.8	最大出力サイズ	8
3.9	ヘルプ表示	8
3.10	バージョン表示	8
4	制限事項	8
4.1	ファイルサイズ	8
5	エラー	9
6	入力例	10

1 概要

STC-MA7 は、SMAF (Synthetic music Mobile Application Format) /MA-2、SMAF/MA-3、SMAF/MA-5、SMAF/MA-7 の再生時間を調整するためのアプリケーションです。

1.1 STC-MA7 の機能

主な機能は以下になります。

- ・ SMAF の再生時間調整機能
- ・ SMAF の出力サイズ調整機能
- ・ 処理履歴ファイル出力機能

1.2 推奨動作環境

本アプリケーションは、以下に準じた動作環境が必要です。

1.2.1 CPU / クロック

Pentium®/Celeron™ または互換プロセッサ
400MHz 以上

1.2.2 OS

Microsoft Windows®2000 / Microsoft Windows®XP

1.2.3 ハードディスク空き容量

40MB 以上

1.2.4 メモリ

64MB 以上

2 ソフトウェア

2.1 ファイル構成

STC-MA7 は以下のファイルから構成されます。

ファイル名	機能
STC-MA7.exe	アプリケーション本体

2.2 形態

GUI を持たないコンソールアプリケーション形式です。

3 オプション操作方法

3.1 再生時間

STC-MA7 [-t <再生時間>]

ミリ秒単位で指定してください。

-t オプションが指定されない場合(t=0 の設定を含む)、5000 ミリ秒をデフォルトとして処理します。

3.2 追加空白時間

STC-MA7 [-p <空白時間>]

ミリ秒単位で指定してください。

-p オプションが指定されない場合、5000 ミリ秒をデフォルトとして処理します。

3.3 入力 **SMAF** ファイルパス

STC-MA7 {-i <入力ファイルパス名>}

256 バイト以上のファイルパスはエラーとなります。

-i オプションが指定されない場合、標準入力をデフォルトとします。

3.4 出力 **SMAF** ファイルパス

STC-MA7 {-o <出力ファイルパス名>}

256 バイト以上のファイルパスはエラーとなります。

-o オプションが指定されない場合、標準出力をデフォルトとします。

3.5 ログファイル出力パス

STC-MA7 [-l <ログファイルパス名>]

指定されたログファイルに以下の項目をタブ区切りで出力します。

入力ファイル名、再生時間、追加空白時間、

FadeOut 数、出力ファイル名、出力ファイルサイズ(改行)

エラー発生の場合は入力ファイル名とエラーコード(7章.エラー参照)を出力します。

256 バイト以上のファイルパスはエラーとなります。

指定されたファイルがすでに存在する場合は末尾に追記する形で出力します。

-l オプションが指定されない場合、ログファイルの出力はありません。

3.6 表示系チャンクの自動削除

STC-MA7 [-d]

-d オプションを無しに、表示系の情報を含む **SMAF** を入力ファイルに指定するとエラーになります。-d オプションの指定により表示系情報を無視して処理を行います。

3.7 フェードアウト

STC-MA7[-f [volume 数]]

再生終了までの 5 秒間でボリュームを絞ることでフェードアウトします。

SMAF/MA-2,MA-3,MA-5,MA-7 共に **ch Volume** を使用し、5 秒間に各 **ch** 毎に指定された **Volume** 数（指定の無い場合デフォルト 12）分割でイベントを挿入します。

またフェードアウト区間にすでに存在する **ch Volume** は全て削除します。

（注）再生時間が 5 秒に満たない場合、フェードアウトの指定は無視されます。

3.8 最大出力サイズ

STC-MA7 [-m <最大データサイズ(byte)> : <調整時間(msec)>]

最大データサイズに収まるまで、再生終了時間を調整時間分ずつ短縮しながら調整します。調整時間分の短縮がそれ以上できない時間でも最大データサイズを越える場合はエラーとなります。

3.9 ヘルプ表示

STC-MA7[-h]

このオプションが指定されるとヘルプ情報を表示しそのまま終了します。

3.10 バージョン表示

STC-MA7 [-v]

このオプションが指定されるとバージョン情報を表示しそのまま終了します。

4 制限事項

4.1 ファイルサイズ

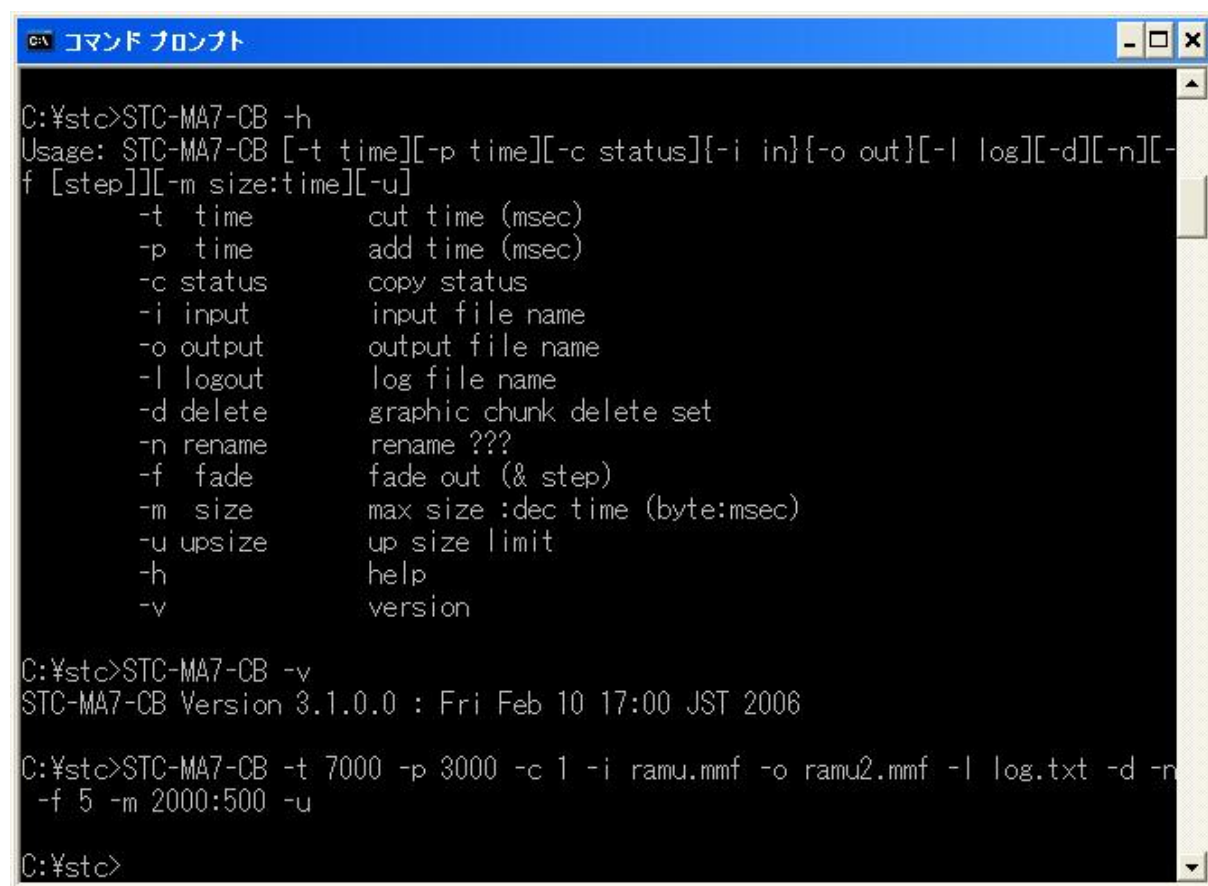
処理可能のファイルサイズの上限はデフォルト **1024k** バイトです。

5 エラー

戻り値とログファイルに出力されるエラーコードの内容を以下に示します。

コード	解説
-1	チャンクサイズ不整合
-2	未知のチャンクあり
-4	タグサイズ不正
-5	エクスクルーシブメッセージサイズ不正
-6	シーケンスデータ不正
-8	ファイルサイズ不正 (但し,KDDI の CRC2 バイトはエラー対象外とする)
-9	ヘッダチャンク(MMMD)不正
-10	再生時間指定不正 (0 未満)
-11	入力された SMAF の演奏時間以上の再生時間が指定された場合
-20	追加空白時間指定不正 (0 未満)
-30	入力ファイルパスサイズ不正 (256 超)
-31	入力ファイルのオープンに失敗
-32	入力ファイルサイズの上限を超えた(512k or 1024k)
-40	出力ファイルパスサイズ不正 (256 超)
-41	出力ファイルのオープンに失敗
-42	出力ファイルサイズの上限を超えた(512k or 1024k)
-50	ログファイルパスサイズ不正 (256 超)
-51	ログファイルのオープンに失敗
-60	表示系情報を含むデータ
-70	メモリー確保に失敗
-71	ファイルの読み込みに失敗
-72	ファイルの書き込みに失敗
-73	出力サイズ指定のデータが不正
-74	出力サイズ指定の変換に失敗
-75	フェードアウト Step 数指定が不正

6 入力例



```
C:\¥stc>STC-MA7-CB -h
Usage: STC-MA7-CB [-t time][-p time][-c status][-i in][-o out][-l log][-d][-n][-f [step]][-m size:time][-u]
    -t time          cut time (msec)
    -p time          add time (msec)
    -c status        copy status
    -i input         input file name
    -o output        output file name
    -l log           log file name
    -d delete        graphic chunk delete set
    -n rename        rename ???
    -f fade          fade out (& step)
    -m size          max size :dec time (byte:msec)
    -u upsize        up size limit
    -h              help
    -v              version

C:\¥stc>STC-MA7-CB -v
STC-MA7-CB Version 3.1.0.0 : Fri Feb 10 17:00 JST 2006

C:\¥stc>STC-MA7-CB -t 7000 -p 3000 -c 1 -i ramu.mmf -o ramu2.mmf -l log.txt -d -n
-f 5 -m 2000:500 -u

C:\¥stc>
```